



アフリカ研究

JOURNAL OF AFRICAN STUDIES

No.99 May 2021

目次

論文

南アフリカ共和国の官僚制
—開発主義国家と国家捕獲の間で— 細井 友裕 1

研究ノート

スワヒリ語の *ndiyo*「はい」の由来に関するニョロ語からの考察
..... 梶 茂樹 13

学界通信

医療在来知研究会 国際ワークショップ報告
..... 新福 洋子 他 21

書 評 29

学会記事 81

Contents

Articles

South African Bureaucracy: Between Developmental State
and State Capture.....Tomohiro HOSOI 1

Note

On the Source of the Swahili Word *ndiyo*“yes”: A Consideration from
Nyoro and other Bantu LanguagesShigeki KAJI 13

Report

Report of the International Workshop on Medical *ZAIRAICHI*,
A Medical-Local Knowledge on Research Network
.....Yoko SHIMPUKU et al. 21

Book Reviews 29

Information 81

JOURNAL OF AFRICAN STUDIES (AFRICA-KENKYU)

JAPAN ASSOCIATION FOR AFRICAN STUDIES

c/o Dogura & Co., Ltd.

1-8, Nishihanaike-cho, Koyama, Kita-ku, Kyoto 603-8148 JAPAN

<http://www.african-studies.com>

目次 2

書評目次

『あふりこーフィクションの重奏／遍在するアフリカ』 (川瀬慈編, 新曜社)	中村 隆之	29
『現代アフリカ文化の今—15の視点から, その現在地を探る』 (ウスビ・サコ, 清水貴夫編, 青幻舎)	末原 達郎	32
『アフリカ・サバンナの〈現在史〉—人類学がみたケニア牧畜民の統治と抵抗の系譜』 (楠和樹著, 昭和堂)	佐久間 寛	33
『アフリカにおける遺児の生活と学校教育—マラウイ中等教育の就学継続に着目して』 (日下部光著, 明石書店)	小川 未空	37
『先住民からみる現代世界—わたしたちの〈あたりまえ〉に挑む』 (深山直子・丸山淳子・木村真希子編, 昭和堂)	宮脇 幸生	40
『ルワンダの今—ジェノサイドを語る被害者と加害者』 (片山夏紀著, 風響社)	鶴田 綾	44
『アフリカ安全保障論入門』 (落合雄彦編, 晃洋書房)	阪本 拓人	47
『ジェノサイド再考—歴史のなかのルワンダ』 (鶴田綾著, 名古屋大学出版会)	片山 夏紀	50
『西アフリカ内陸の近代—国家をもたない社会と国家の歴史人類学』 (中尾世治著, 風響社)	佐藤 章	54
『ピースでたどるホモ・サピエンス史: 美の起源にせまる』 (池谷和信編, 昭和堂)	石川 博樹	57
『世界はきっと変えられる—アフリカ人留学生が語るライフストーリー』 (山田肖子編, 廣瀬柱子編集協力, 廣瀬信明絵, 明石書店)	坂井 真紀子	60
『物語 ナイジェリアの歴史—「アフリカの巨人」の実像—』 (島田周平著, 中央公論新社)	戸田 真紀子	63
『かごバッグの村—ガーナの地場産業と世界とのつながり』 (牛久晴香著, 昭和堂)	園部 裕子	66
『アフリカ女性の国際移動』 (児玉由佳編, アジア経済研究所)	三島 禎子	70
『開発と文化における民衆参加—タンザニアの内発的発展の条件—』 (阪本公美子著, 春風社)	村尾 るみこ	73
『スワヒリ世界をつくった「海の市民たち」』 (根本利通著, 昭和堂)	太田 至	76